

美濃源氏大太鼓保存会

活動のご紹介

目次

01 歴史

02 メンバー構成

03 活動履歴

04 令和5年度事業報告

歴史

- 発足の生い立ち
- 昭和46年、七商店街振興組合において七夕まつりでメイン行事として発足。
- 鎌倉末期、当地に太鼓があったとの言い伝えを商店街で復元し、『美濃源氏大太鼓』と命名。
- 『やまびこ・うたげ・ながれび・七夕ばやし』オリジナル4曲を創設メンバーが作成し活動に入る。
- 大太鼓、中太鼓、長胴太鼓は、一本の欅からくり抜いて作成された親・子・孫の太鼓である。
- その太鼓の元になった欅は現在の日本では入手困難であるものと言われる。

メンバー構成

- 会長

渡邊功雄

- 副会長

有賀辰郎

- 副会長（事務局長）

水野浩二

- 婦人部部長

山内眞里子

- 構成員数

１２名





活動履歴

- 瑞浪市七夕まつり等イベントへの参加、瑞浪市の子供たちに和太鼓を通じて伝統文化の継承・協調性・礼儀作法などを伝えている。

瑞浪市美濃源氏七夕まつり、和太鼓指導、NHK、岐阜未来博、可児市花フェスタ記念公園、岡崎市葵博覧会、桜堂薬師千二百年祭など











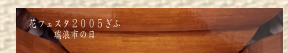


七夕まつり









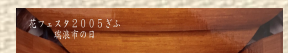
一般太鼓教室











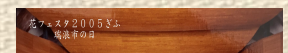



桜堂薬師千二百年祭


七夕まつり

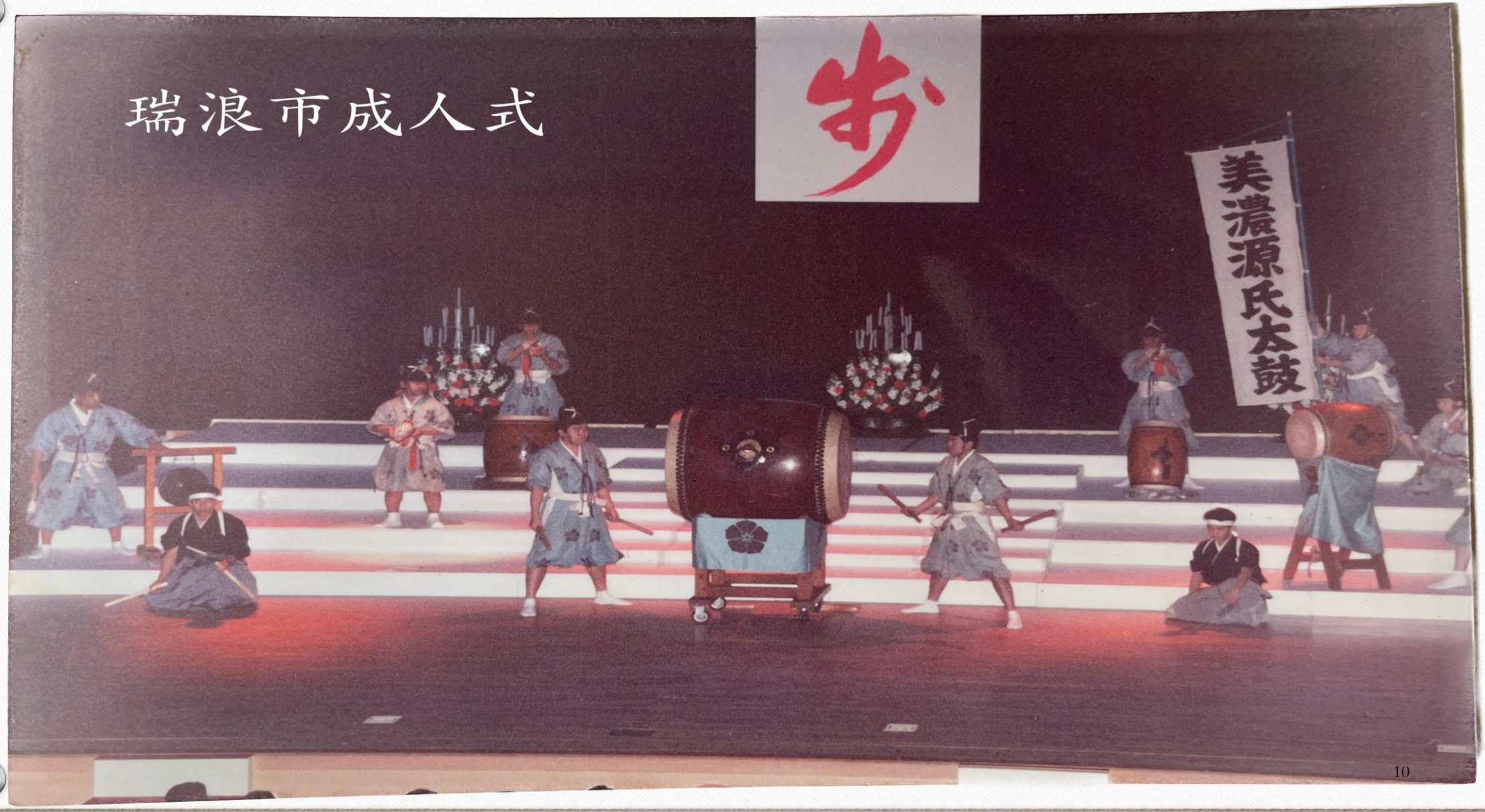



瑞浪市成人式


花フェスタ2005


小里川ダム湛水式

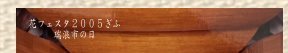
瑞浪市成人式













花フェスタ２００５ぎふ
瑞浪市の日













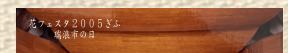

小里川ダム湛水式
ム湛水


七夕まつり




桜堂薬師十二百年祭


瑞浪市成人式


花フェスタ2005さよ
瑞浪市の日

令和5年度事業
子ども太鼓













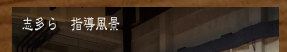




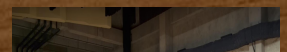

あつまれ!
子ども
和太鼓教室開講
美濃源氏大太鼓
♫瑞浪の太鼓を打ってみよう♪
対象 小学校４年生～６年生の児童
（定員20名）
日時 毎週火曜日・全10回講座
午後7時～午後8時30分
5/30 6/6・13・20・27
7/4・11・18・25 8/1
会場／瑞浪市総合文化センターホール舞台
会費／1,000円
申込期限／令和５年５月23日（火）
美濃源氏大太鼓
演奏発表会は
美濃源氏
七夕まつり!!
（8/5 予定）
美濃源氏大太鼓保存会
会長／渡辺功雄 後援／瑞浪市教育委員会
問合せ 申込先
水野 浩二 090-3442-0060
有賀 辰郎 090-6576-4183
令和５年度瑞浪市夢づくり市民活動補助金活用事業

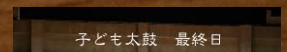
子ども太鼓　2023年　参加20名







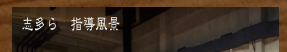




練習風景

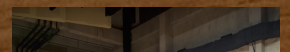




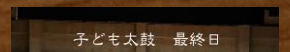












志多ら　指導風景

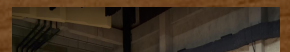




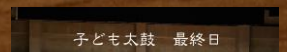








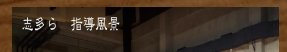




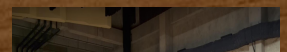



子ども太鼓　2023年　参加20名

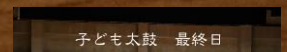

練習風景


志多ら　指導風景





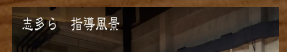



子ども太鼓　最終日

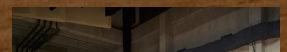



子ども太鼓　2023年　参加20名

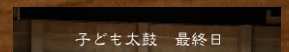

練習風景


志多ら　指導風景





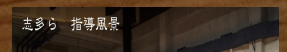



子ども太鼓　最終日


大川太


子ども太鼓　2023年　参加20名

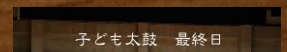

練習風景


志多ら　指導風景





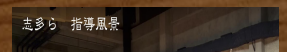



子ども太鼓　最終日



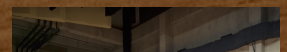

子ども太鼓　2023年　参加20名

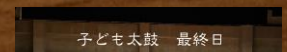

練習風景


志多ら　指導風景





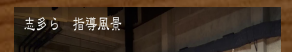



子ども太鼓　最終日


子ども太鼓　最終日

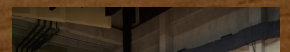

子ども太鼓　2023年　参加20名


練習風景


志多ら　指導風景









2023年　新聞記事より

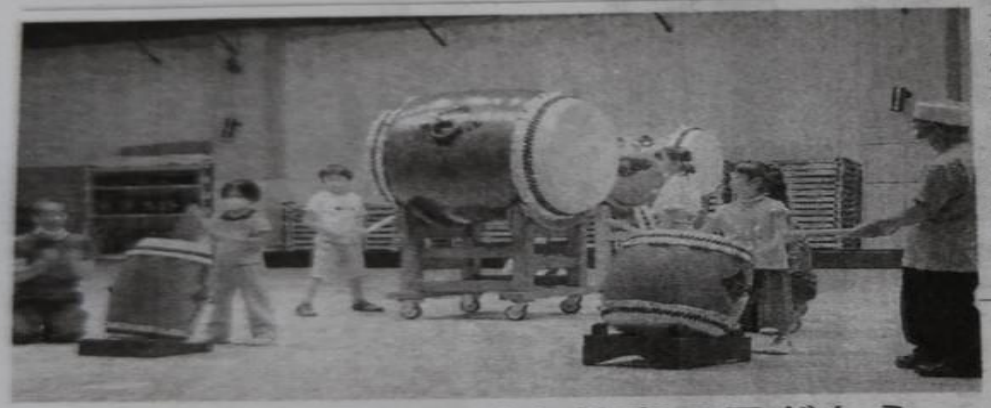
三千発を打ち上げる。地域の人や企業などから寄せられた「願い」とともに打ち上げられる珍しい企画で、こちらも河川敷での通常開催は四年ぶりとなる。雨天時は、翌週に順延。

まつり会場で〝初舞台〟

美濃源氏大太鼓保存会

子ども教室が5日夜に

七夕まつりでの〝初舞台〟に向け、美濃源氏大太鼓保存会（渡辺功雄会長）が主催する子ども太鼓教室の児童らが練習を重ねている。



本場へ向け練習に励む教室の子どもら

同保存会は約五十年前に市商店街連合会の若手四十人ほどで発足。現在の会員は十二人で、市ゆかりの武将・土岐頼貞ちをモチーフにした楽曲をイベントで演奏するなどして活動している。

本年度、市の「夢つくり市民活動補助金」を受け、子ども教室を企画。これまで、市などが行う教室で講師を務めたことはあったが、教室を主催するのは初めてという。教室には、小学一年生二人と四―六年生十八人の計二十人が参加。五月末から市総合文化センターで毎週火曜日、練習を重ねてきた。

発表会は五日、花火打ち上げ前の午後七時に地域交流センターときわで開催。「七夕ばやし」を保存会と共に演奏するほか、愛知県奥三河を拠点に活動するプロの創作和太鼓集団「志多ら」が応援に駆けつける。問い合わせは、同保存会の水野浩二さん（電話＝〇九〇―三四四二―〇〇六〇）まで。

2023年8月5日　中日新聞

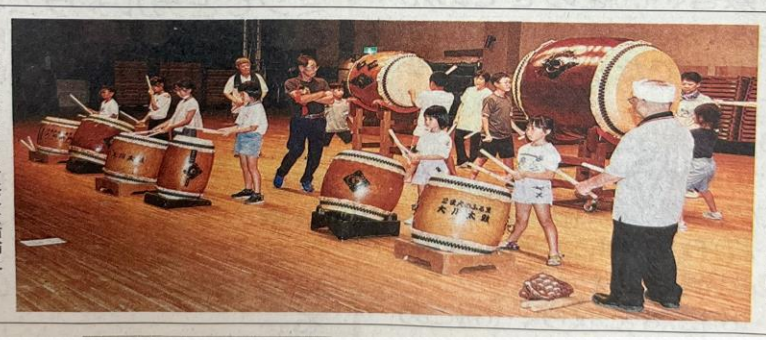
美濃源氏大太鼓 練習成果見て

瑞浪の児童がきょう保存会指導で演奏会

瑞浪市内の有志の児童二十人が五日午後七時から、同市寺河戸町の市地域交流センターときわで演奏会を開く。同市で活動する美濃源氏大太鼓保存会と共に練習を積んできた成果を披露する。

太鼓について知ってもらい、より多くの人に興味を持ってもらおうと、今回保存会が初めて子どもたちを募って発表会を企画した。子どもたちは太鼓経験はないが、同市土岐町の市総合文化センターで五月下旬から十回にわたり練習を積んできた。愛知県東栄町のプロ和太鼓集団「志多ら」からも指導を仰ぐなどした。一日にあった本番前最後の練習では、手の動きも音もほとんどそろうまでに成長した。

明世小五年の水野美桜（みおう）さん（一一）は「全員でそろえるところが難しい。本番は大きな音を出したい」と意気込む。十年ほど前は十八人いた保存会のメンバーは、今は十人ほどまで減った。渡辺功雄会長（七四）は「今回の体験を通じて太鼓に興味を持ち、後継者が出てくれたら」と期待を込めた。（吉田英悟）

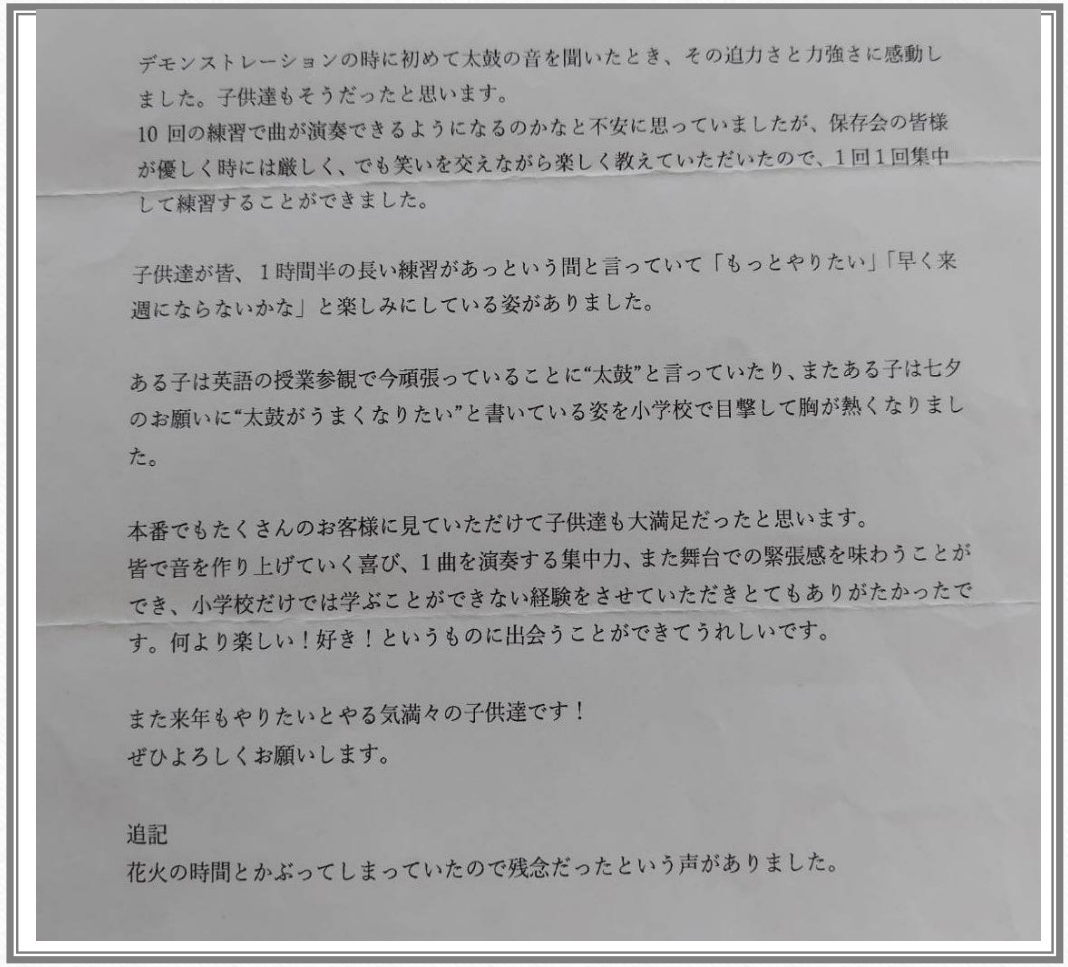


本番に向けて太鼓を練習する子どもたち＝瑞浪市土岐町の市総合文化センターで

令和5年　七夕まつり　発表会




濃源



デモンストレーションの時に初めて太鼓の音を聞いたとき、その迫力さと力強さに感動しました。子供達もそうだったと思います。
10 回の練習で曲が演奏できるようになるのかなと不安に思っていましたが、保存会の皆様が優しく時には厳しく、でも笑いを交えながら楽しく教えていただいたので、1回1回集中して練習することができました。

子供達が皆、1時間半の長い練習があっという間と言っていて「もっとやりたい」「早く来週にならないかな」と楽しみにしている姿がありました。

ある子は英語の授業参観で今頑張っていることに“太鼓”と言っていたり、またある子は七夕のお願いに“太鼓がうまくなりたい”と書いている姿を小学校で目撃して胸が熱くなりました。

本番でもたくさんのお客様に見ていただけて子供達も大満足だったと思います。
皆で音を作り上げていく喜び、1曲を演奏する集中力、また舞台での緊張感を味わうことができ、小学校だけでは学ぶことができない経験をさせていただきとてもありがたかったです。何より楽しい！好き！というものに出会うことができてうれしいです。

また来年もやりたいとやる気満々の子供達です！
ぜひよろしくお願いします。

追記
花火の時間とかぶってしまっていたので残念だったという声がありました。

保護者からの手紙